



大倉工業株式会社

【企業概要】

創 業：1947年7月11日

資 本 金：8,619,616,017円

代 表 者：代表取締役会長 高濱 和則
代表取締役社長執行役員 神田 進

従業員数：単独 1,071名、連結 2,025名
(2019年12月31日現在)

事業内容：各種ポリエチレン製品及びポリプロピレン
製品の製造販売、光学機能性フィルム
等の製造販売、パーティクルボード及び
加工ボード等、加工合板の製造販売 等



【企業紹介】

当社はカップ麺の外装フィルムなどの各種包装材、自治体指定のゴミ袋、スマートフォンの液晶画面用光学フィルム、システムキッチンの化粧扉などの製造を手掛け、人々の快適な暮らしをサポートしてきました。引き続きこれまで培ってきた技術力をベースに、お客様の価値向上と社会問題の解決に貢献し、事業を通じて社会・環境価値の創出に注力して行きます。

昨年、次の10年に向けて全従業員で目指すビジョン「Next10」を策定しました。その中で注力する分野は住空間や医療の「生活産業事業」、海洋プラスチックごみ問題を踏まえての「環境関連事業」、高速通信時代を見据えた「情報通信事業」の三つ。技術を通じて新たな価値を創造し、お客様から選ばれる「ソリューションパートナー」を目指します。具体的には、食品の賞味期限を延ばして食品ロス軽減に寄与するフィルムなど付加価値を高めた製品やプラごみ対策となる生分解フィルム、5G対応として高速通信の進化に貢献する材料などの開発を進めています。

また、「ESG」の推進も重要テーマとして取り組んでおり、企業活動上の様々な課題に全力で取り組んでまいります。



【安全衛生活動】

「安全はすべてに優先する」「安全は経営の根幹である」を基本方針として毎年安全目標を定めて従業員全員で共有し、実践しています。本年は『「気づく」「考える」「実践する」を繰り返し、みんなで高めよう 安全意識』です。また、グループ会社を含めた製造拠点の安全管理者を集めた全体会議を定期的に開催し、各職場だけではなく経営幹部による安全パトロールを毎年各事業所にて実施し、職場環境の改善に励んでいます。

新型コロナウイルス感染拡大防止策として、テレワークや時差出勤を取り入れ、TV会議を活用するとともに事務所での密集を回避し、製造現場においても少数チームでの業務を心掛けています。また、全従業員や家族への自社製のマスクを支給しました。